

1. 二酸化塩素の試験濃度は0.1、1、10、100、1,000ppmの順にて実施
2. 芽胞を形成する菌は芽胞形成を確認後の試験

試験菌	二酸化塩素濃度 (ppm) 2.5分後死滅	二酸化塩素濃度 (ppm) 15分後死滅濃度
緑膿菌	10	1
サルモネラ	1	0.1
腸炎ビブリオ	1	0.1
乳酸球菌	10	1
乳酸桿菌	1	1
セレウス菌	1,000	100
クロストリジウム	100	100
クラドスポリウム	10	10
青カビ	10	10
フザリウム	10	1
リゾプス	10	10
ビソクラミス	10	10
ネオサルトリア	100	10

「財団法人 日本食品分析センター」試験報告 第NA66100254号

*二酸化塩素水溶液・試料は弊社取扱品使用（他社品に関する実証値ではありません）

*上記は日本食品分析センター課長が「防菌防黴（日本防菌防黴学会）」に発表

下記は二酸化塩素のレジオネラ属菌、代表的宿主の殺菌実験データです。

レジオネラ対策では、レジオネラ属菌が基本的に寄生虫（菌）という性質から、バイオフィルム以外にその宿主たる原虫類をも殺虫しなくてはなりません。

二酸化塩素の *Legionella pneumophila* 99.9%不活化データ (Berg et al. 1982:1985)

残留二酸化塩素 (mg/l)	水温 (°C)	pH	接触時間 (min)	濃度時間積 (mg・min/l)	備考
0.5~0.35	23	—	15	—	最低試験濃度 0.35ppm

二酸化塩素の *Naegleria gruberi* の99%不活化データ (Chen et al. 1985)

残留二酸化塩素 (mg/l)	水温 (°C)	pH	接触時間 (min)	濃度時間積 (mg・min/l)	備考
0.8~1.95	5	7.0	7.8~19.9	15.5	
0.46~1.0	25	5.0	5.4~13.2	6.35	
0.35~1.26	25	7.0	4.0~14.2	5.21	
0.42~1.1	25	9.0	2.5~6.7	2.91	